

令和8年 1月 7日
健 康 づくり部

唐津市民病院きたはたと佐賀大学医学部附属病院は、 総合診療医育成に関する連携協定を締結しました

市民病院と佐賀大学相互が連携し、地域医療実践の中での総合診療医の育成体制を強化するため、唐津市民病院きたはた内に「佐賀大学医学部附属病院地域総合診療センター」を併設します。

1 締結日

令和8年1月1日（木）

2 連携協定締結者

(1) 佐賀大学医学部附属病院 病院長 野口 満
(2) 唐津市民病院きたはた 病院長 大野 毎子

3 協定の趣旨および内容等

別紙資料のとおり

本件の問い合わせ先
健康づくり部 市民病院きたはた事務局
担当：百武
電話：直通 64-2615

【別紙】

唐津市民病院きたはたと佐賀大学医学部附属病院は、 総合診療医育成に関する連携協定を締結しました

I 協定概要

(1) 目的

総合診療医の育成に向けた取り組みを共同して推進することにより、相互が連携し、地域医療実践の中で総合診療医の育成を図る。

(2) 実施体制

唐津市民病院が運営する「唐津市総合診療教育センター」内に、「佐賀大学医学部附属病院地域総合診療センター」を併設し、市民病院による総合診療医の育成を支援（※大学側から必要に応じ市民病院に助言及び指導を実施）

2 これまでの状況

(1) 佐賀大学医学部附属病院

・概要

院外に総合診療医の養成機関を恒常に設置し、指導医クラスと専攻医クラスの医師を派遣し、地域医療実践の中で総合診療医の育成を図る。

・経過

昭和 61 年 国立大学初となる総合診療部設置 総合診療医の育成を開始

平成 24 年 佐賀市立富士大和温泉病院内に地域総合診療センターを設置

平成 28 年 独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター内に同センターを設置

令和 5 年 社会医療法人祐愛会織田病院内に同センターを設置

(2) 唐津市民病院きたはた

・育成組織

唐津市総合診療教育センター（令和 2 年 4 月 1 日設置）

・育成の目的

本市における地域医療の担い手の育成及び確保を図るため。

・研修内容

市民病院内外での総合診療専門研修プログラムの履修（3 年間）

・実績

令和 2 年度 2 人（うち 1 人を当院で採用）

令和 4 年度 1 人（当院で採用）

令和 5 ~ 7 年度 各 1 人（研修中）計 6 人履修、うち 2 人採用

3 期待される効果

(1) 相互補完的な教育体制の確立

(2) 北部医療圏における総合診療医育成の拠点化

(3) 育成した総合診療医の北部医療圏内への定着促進を図るための支援体制の研究